



医療・介護における腰痛関連課題調査2026

管理者様向け

概要／手順書

* 調査後にご登録いただいた法人/施設ごとにデータを返却いたします。

P1 | 調査概要

- ・ 調査期間
- ・ 調査概要
- ・ 調査項目

P2 | 【管理者様向け】調査手順

- ・ 申込から結果ご案内までの流れ

<申込登録フォーム>

法人・施設情報登録URL/二次元バーコード記載

※別紙2を参照ください。

配布用資料 | 【職員様向け】回答のお願い

* 法人/施設内で職員様へ配布する資料としてご活用下さい

<調査に関連した質問やお問合せはこちら>

一般社団法人日本ノーリフト協会事務局

✉ noliftcare@gmail.com ☎ 078-862-8503

窓口対応時間：平日10:00～17:00 ※時間外のお問い合わせは、メールにてご連絡ください。

ホームページはこちら

<https://www.nolift.jp/>



調査実施予定期間

配布時から 1ヶ月【要相談】

* 調査後はご登録いただいた法人/施設ごとのデータを返却いたします。

調査概要

調査目的	当法人/施設では、この度、一般社団法人日本ノーリフト協会が実施する「腰痛関連課題調査2026」に参加いたします。 医療・介護領域における現場の課題を明らかにすることを目的とし、病院・施設の職員様が抱える課題を、本調査を通じて把握し、課題解決に向けたアクションに繋がっていきたく考えております。
倫理審査	国立大学法人東京科学大学倫理委員会の審議を経た上で学長の許可を得て実施します。
回答期間	配布時から 1ヶ月【要相談】
個人情報保護	本調査は無記名自記式で実施するため、回答者個人が特定されることはありません。また、統計的に処理された結果のみを公表します。職場等が特定されることはありません。
回答手順	P2「調査手順」を参照ください。
不利益等	アンケートへの回答に15～30分の時間がかかります。
調査への同意及び撤回	本調査への協力は回答者の自由意思によるもので、途中で回答を辞めることができます。調査協力に同意しない場合であっても、回答者はなんら不利益を受けることはありません。また、調査実施を承諾した後でも、随時、協力を撤回できます。

調査項目

基本情報・腰痛実態	働き方・ケアについて	福祉機器情報
<ul style="list-style-type: none">性別年代保有資格役職、勤務形態 (正社員・夜勤の有無など)残業時間腰痛睡眠状況 (腰痛の有無・程度、腰痛歴)運動状況疲労程度 など	<ul style="list-style-type: none">精神的、身体的負担のある作業移乗について (対象者の最大体重、介助者数)入浴介助について腰痛予防に関する教育について腰痛予防対策指針の認識度合い など	<ul style="list-style-type: none">移乗リフトの活用情報ロボットや福祉用具の活用情報 (電動ベッド、スライディングシートなど) など

※個人情報保護の観点から、個人の特定ができない無記名自記式調査となります。

■ 申込から結果ご案内までの流れ

「申込」から「調査結果報告」までの流れは下記の通りです。



1. 申込・登録

所要時間 | 10~20分

下記二次元バーコードもしくはURLへアクセスし、法人/施設情報を入力

URL | https://noliftcare.svy.ooo/ng/answers/lowbackpainsurvey2025_nla/

- ◆ 回答は1回のみでお願いします
- ◆ ご登録いただいた法人/施設専用のアンケートURLを発行いたします
- ◆ PC、もしくはスマートフォンから入力いただけますが、視認性の点でPCのご使用をお勧めします



2. 各種URL発行

日本ノーリフト協会より下記をメールにてご案内

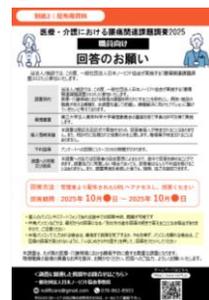
- ①「職員様向け配布用URL」 ②「回答状況確認用URL」



3. 回答URLを職員様へ配布

- ①「職員様向け配布用URL」を別紙2「配布用資料_職員様向け回答のお願い」と併せて、対象職員様へ配布ください

- ◆ 「職員様向け配布用URL」は全職員様共通です



別紙2 配布用資料
【職員様向け】回答のお願い



4. アンケート回答

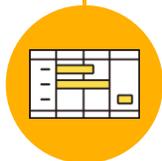
所要時間 | 15~30分

職員様用URLより各職員様が回答



②「回答状況確認用URL」より回答数確認可能

- ◆ 「回答状況確認用URL」から回答状況をご確認ください
その際、回答状況が芳しくない場合は、回答喚起をお願いします
- ◆ 分母が回答予定者数、分子が現在の回答者数です



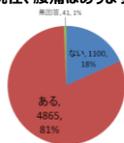
5. 調査結果報告

調査後はご登録いただいた法人/施設ごとにデータを返却いたします。

■ 調査の活用方法

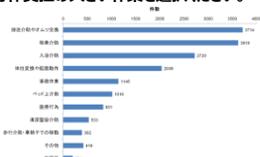
職員様の腰痛状況・負担の見える化

Q. 現在、腰痛はありますか？



職員様の腰痛状況や負担に感じている業務を把握し対策を検討。

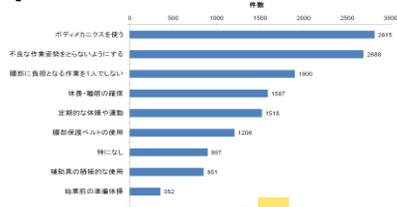
Q. 身体負担の大きい作業を選択ください。



職員様の腰痛状況や負担に感じている業務を把握し対策を検討。

対策・改善方法の見直し

Q. 現在の腰痛に対する治療や対策について。



現状の対策を把握し、改善方法の見直しを図る。